

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M380-40-9910

3820 グループ和文ユーザーズマニュアル追加情報 (総集編)

3820 グループ和文ユーザーズマニュアル(1994 年 9 月発行 : HU-043A) 関連で、これまでに発行した追加情報のニュース(下記参照) を、このたび集約しました。

本マニュアルをご使用の際は、留意のほどよろしく申し上げます。

3820 グループ和文ユーザーズマニュアル関連ニュース

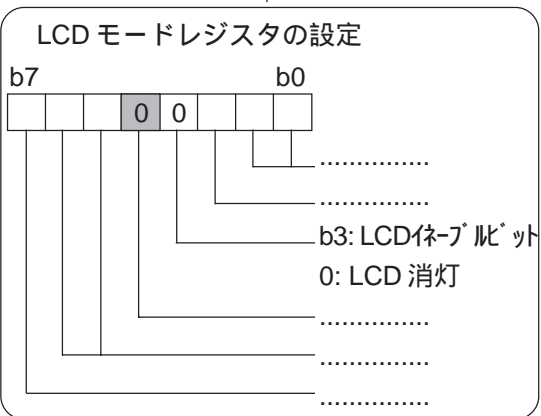
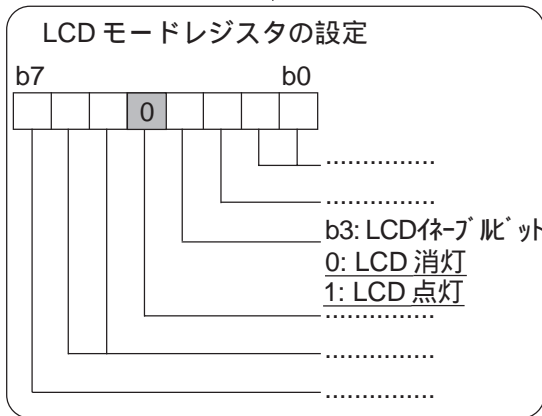
- (A) M380-20-9501 3820 グループユーザーズマニュアル追加情報(REV.A)
- (B) M380-25-9507 3820 グループユーザーズマニュアル追加情報(REV.B)
- (C) M380-36-9907 7500/3820/3822/3825 グループ和文ユーザーズマニュアル追加情報

()内の英字は、正誤表中のREV.項目の英字と対応します。。
「REV.D」は今回新たに追加した情報です。

Rev.	訂正箇所	誤	正
D	P1-20 (左段)	キー入力割り込みは、ポートP2のうち入力に設定されている端子のいずれかに“L”レベルの電圧が印加されると、	キー入力割り込みは、ポート P2 のうち入力に設定されている端子のいずれかに <u>立ち下がりエッジ</u> が検出されると、
B	P1-22 上から 5 行目 (右段)	(ただし、リアルタイムポート制御ビットを“0”から“1”に変えたときにはタイマXの動きにかかわらずデータが出力されます。)	(ただし、 <u>リアルタイムポート用データを設定した後</u> 、リアルタイムポート制御ビットを“0”から“1”に変えたときにはタイマXの動きにかかわらずデータが出力されます。)
B	P2-43 下から 7 行目	リアルタイムポートからのデータ出力は、タイマXモードレジスタのリアルタイムポート制御ビットを“1”にした時点から開始されます。	リアルタイムポートからのデータ出力は、 <u>タイマXモードレジスタのリアルタイムポート制御ビットを“1”にした時点から開始されます(タイマXモードレジスタのリアルタイムポート制御ビットを“1”にする場合は、SEB 命令を使用してください)</u> 。
C	P2-70 (1) タイマX タイマ モード 図 2.3.23	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は下記①の設定前に割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビット及び、割り込み要求レジスタ1のタイマX割り込み要求ビットをクリアし、下記④の設定後にタイマX割り込み許可ビットを許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウンタを停止する前(下記①の設定前)、割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビットを“0”にしてください。 ・下記③の設定後に、割り込み要求レジスタ1のタイマX割り込み要求ビットを“0”にし、次に割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビットを“1”にしてください。 ・最後に④の設定を行ってください。
C	P2-71 (1) タイマX パルス出力 モード 図 2.3.24	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウンタを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。

Rev.	訂正箇所	誤	正
C	P2-72 (1) タイマX イベントカウンタモード 図 2.3.25	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
C	P2-73 (1) タイマX パルス幅測定モード 図 2.3.26	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR ₀)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
C	P2-75 (2) タイマY タイマモード 図 2.3.28	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は下記①の設定前に割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビット及び、割り込み要求レジスタ1のタイマY割り込み要求ビットをクリアし、下記④の設定後にタイマY割り込み許可ビットを許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記①の設定前)、割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビットを“0”にしてください。 ・下記③の設定後に、割り込み要求レジスタ1のタイマY割り込み要求ビットを“0”にし、次に割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビットを“1”にしてください。 ・最後に④の設定を行ってください。
C	P2-76 (2) タイマY 周期測定モード 図 2.3.29	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。

Rev.	訂正箇所	誤	正
C	P2-77 (2) タイマY イベントカウンタモード 図 2.3.30	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
C	P2-78 (2) タイマY パルス幅HL連続測定モード 図 2.3.31	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR ₁)を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
D	P2-80 図 2.3.35	P5(0008 ₁₆ 番地) , bit 4 1	P5(000A ₁₆ 番地) , bit 4 1
D	P2-82 図 2.3.39	リコール(2箇所)	リロード(2箇所)
D	P2-123 * 4	同期クロックとして内部クロックを使用している場合、送信が終了すると...	同期クロックとして内部クロックを使用している場合、 <u>8ビット</u> の送信が終了すると...
D	P2-123 図 2.5.11		
A	P2-124 UART受信のスタートビット判定の図		

Rev.	訂正箇所	誤	正
A	P2-129 下から2行目	フラグが“0”の期間のみ可能です。	フラグが“1”の期間のみ可能です。
D	P2-133 表2.5.4	送信バッファフルフラグ	受信バッファフルフラグ
A	P2-168 (2)LCDE-ド レジスタ b3: LCD イネ-ブル ビット	b3: LCD イネ - ブルビット “0” にすると LCD 表示の全 消灯を行います。 LCD 表示の変更を行う場合は、必ず LCD の消灯を行ってから LCD 表示用 RAM の内 容を書き換え、次に LCD の点灯を行うよう にしてください(ちらつき防止)。	b3: LCD イネ - ブルビット “0” にすると LCD 表示の全 消灯を行います。 (以降削除)
A	P2-173 図 2.7.7	[使用時の注意事項] 1.LCDの消灯を行ってから、LCD表示デ - タを 書き換えてください。(点灯中に書き換えを行っ と、ちらつく場合があります。) 2. ポ - ト P0、P1 をプルダウンする	[使用時の注意事項] (1. は削除) 1. ポ - ト P0、P1 をプルダウンする
A	P2-174 図 2.7.8	 <p>LCD モードレジスタの設定</p> <p>b7 b0</p> <p>b3: LCDイネ-ブルビット 0: LCD消灯</p> <p>LCD 表示用 RAM(0040₁₆ ~ 0053₁₆ 番地) に表示用デ - タを設定</p> <p>LCD イネ - ブルビット (LCD モードレジ スタの b3) を “1” に設定し、LCD を点灯</p>	 <p>LCD モードレジスタの設定</p> <p>b7 b0</p> <p>b3: LCDイネ-ブルビット 0: LCD消灯 1: LCD点灯</p> <p>LCD 表示用 RAM(0040₁₆ ~ 0053₁₆ 番地) に表示用デ - タを設定</p> <p>(削除)</p>

Rev.	訂正箇所	誤	正
A	P2-178 図 2.7.14	<p style="text-align: center;">RESET</p> <p style="text-align: center;">.....</p> <p>LCD 点灯(消灯) メモリを切り換える時</p> <p>LM(0039₁₆ 番地), bit3 0 LCD 消灯 LCDRAMX(00XX₁₆ 番地)ビットを書き換える XXXXXXXX₂ LM(0039₁₆ 番地), bit3 1 LCD 点灯</p>	<p style="text-align: center;">RESET</p> <p style="text-align: center;">.....</p> <p>LCD 点灯(消灯) メモリを切り換える時</p> <p>LCDRAMX(00XX₁₆ 番地)ビットを書き換える XXXXXXXX₂ (1行目、4行目削除)</p>
D	P2-191 図 2.9.4 注 (下から 2 行目) P2-204 図 2.11.5 注 (下から 2 行目)	低速モードから高速モードへの移行は、.....	低速モードから中速/高速モードへの移行は、...